

## 《入選》

みんながみんなのために出来ること

彦根総合高等学校 1年

北川 莉々子 さん

みなさんLGBTという言葉を知っていますか。LGBTとは、言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者を表す言葉の一つです。Lはレズビアン、Gはゲイ、Bはバイセクシャル、Tはトランスジェンダーです。それぞれの性的指向や性自認を表す言葉です。

LGBT差別などの問題が注目される中、正直自分には関係のないことだと思っている人がたくさんいることと思います。私も少し前までそうでした。中学生の頃、授業で何回かLGBTについて学習して、こんなにもい

るのに私の周りには一人もいないなと思っていました。

ある日、友人から「聞いてほしいことがある。」と言われて話を聞くと、「私は中性、Xジェンダーというものの。」

と言われてました。あなたには伝えておきたかったからという理由で勇気を出して教えてくれたのです。私は正直、頭が混乱していました。今まで女の子だと思って接していたけど大丈夫だったのかなという不安もでてきました。このことを教えてくれたいる数少ない人の中の一人になれたからには協力してあげて少しでも日々の負担を減らしてあげたいと思い、学校生活で辛いことはあるか聞くと、男女別で列に並ぶ時、着替える時、トイレの時などたくさん出てきました。また、中性なので自分自身でも性別が分からなくて、とりあえず見た目の性別に合わ

せるしかないという悩みもあると聞きました。そんな時は私は女子生徒もズボンを選べるようにした方が良く学校に提案することしかできませんでした。

こんな風に、今まで普通に接していた子からLGBTだと言われたら何をしよう。正直とが一番なんでしょう。正直正解はないと思います。

私はずっとLGBTの子が身近にいないから自分には関係のない問題として考えてきましたが、いないのではなくて、知らないだけだということがこの経験でよく分かりました。今では、十一人に一人がLGBTであるといわれています。LGBTが増え続けている中、差別をなくすため、LGBTの人たちの負担を少しでも減らすために、知らないだけで自分の周りにもそういう子はいるといふ考えをみんなが持

つこと、LGBT自体を理解することが一番大切なのではないかと私は思います。教えてもらっていないと直接その子の助けはできませんが、こういった考えをみんなが持っていることだけでもLGBTの人たちの「私はみんなと違う。」「変なんだ。」という思い、考えが大きく変わると思います。

一人ひとりの理解が知らないところで友達を救っているかもしれないという考えが広まって、最終的にはLGBTという概念自体が無くなるといいなと私は思います。